

2021年4月30日
(1/2)

ダイハツ、DNGA海外第2弾となる新商品をインドネシアで投入 ～新型コンパクトSUV「Rocky」を発売～



ダイハツ工業（株）（以下、ダイハツ）のインドネシアの現地法人であるアストラ・ダイハツ・モーター社（以下、ADM）は4月30日、DNGA海外展開の第2弾として、新型コンパクトSUV「Rocky（ロッキー）」を発売しました。

新型「Rocky」は、2021年2月にマレーシアのプロドゥア社から発売した新型「Ativa（アティバ）」に続く、ダイハツの新世代のクルマづくり「DNGA (Daihatsu New Global Architecture)」による海外展開第2弾商品であり、「Ativa」同様、2019年に日本で発売したコンパクトSUV「ロッキー」をベースとしています。また、トヨタグループの新興国小型車事業の一環として、トヨタ自動車へOEM供給を行うとともに、約50か国への輸出も予定しています。生産はダイハツブランド、トヨタブランドともにADMのカラワン車両工場にて行います。

新型「Rocky」は、近年都市部を中心に2列シート車のニーズが高まる中、若年ファミリー層をメインターゲットとしたお求めやすい価格の2列シートSUVとして、お客様の選択肢の幅をさらに広げます。日本の「ロッキー」と同じく、SUVらしいアクティブなデザインや、小回りの利くコンパクトなサイズ感と広い室内空間の両立を実現した他、インドネシアでダイハツが発売する商品としては初めて、予防安全装備「スマートアシスト（現地名：Advanced Safety Assist）」を導入し、高まる安全・安心へのご要望にお応えします。また1.0LターボエンジンとD-CVTを搭載し、優れた環境性能や走行性能を実現するとともに、今後1.2Lエンジンも追加予定です。

DNGAは、軽自動車を基点に小型車まで、設計思想を共通化した「一括企画開発」を採用しており、日本およびアセアンを中心とした新興国において、グローバル商品としてベースを共通化しながら、現地ニーズに最適にお応えできる商品として市場投入できるクルマづくりを進めてきました。ダイハツは今後もDNGA商品を、アセアンを中心とした新興国へ展開するとともに、各地域での自動車の普及および産業、人材育成に貢献し、お客様に生活に寄り添った企業を目指します。

【新型「Rocky」の主な特長】

1. デザイン : SUVらしい力強くアクティブなデザイン
2. パッケージ : 外形はAセグメントのコンパクトサイズをキープしながら、広い室内空間を実現
3. 安全性能 : 予防安全装備「スマートアシスト(現地名: Advanced Safety Assist)」を採用
4. 基本性能 : DNGA新プラットフォームや新ユニット(1.0LターボエンジンとD-CVT / 5MTの組み合わせ)による環境性能、快適な走りや乗り心地などの高い基本性能
5. 経済性 : 若年層にもお求めやすい価格

【主要諸元】

駆動方式	FF (Front engine, Front wheel drive)
エンジン	1KR-VET (1.0L・TC※)
トランスミッション	CVT (D-CVT) / 5MT
乗員定員 (名)	5
全長×全幅×全高 (mm)	4,030 × 1,710 × 1,635

※TC: Turbo Charger (ターボ)

【希望小売価格】

約2億1400万ルピア～約2億3600万ルピア

(日本円: 約160万円～約177万円 (1ルピア=0.0075円 (4月29日時点) で換算))

【生産工場】

ADM (アストラ・ダイハツ・モーター) カラワン車両工場

以 上